

令和5年度 日野中央高等特別支援学校 体育・健康プラン

【中期学校経営方針「豊かな心」「健やかな体」取組目標】

一人ひとりが互いに認め合い、自己有用感、自己肯定感を高め、合意形成を図ったり、意思決定したりする力を育む取組を推進する。

全学年でコーチング、アンガーマネジメントの授業を継続し、自己を理解する力を認め、他者理解へと繋げる。

全教員がスクールカウンセラー、コーディネーター、養護教諭と連携し相談活動を充実する。

自立した生活を支える基礎となる基本的な生活習慣を確立し、運動習慣を意識できるよう支援する。

生涯にわたってスポーツを楽しめる態度を育成する。

自己の存在を肯定的に受け止め、自他の生、性に対する理解を深め、望ましい人間関係を築く態度や能力を育成する。

<児童生徒の体育・健康面の姿>

- ・休日等は家でゲームやパソコンをしている生徒が多く、運動の経験が少ないため、けがにつながりやすい。
- ・保健室の利用状況は、内科的・外科的な理由での来室よりも、相談やクールダウンなどの精神的な理由での来室が

<体育・健康に関する指導の目標・方針>

- ・各種の運動を適切に行うことによって健康な身体を育てるとともに、強い意志を養い、体力の向上を図る。
- ・心身の発達や心の健康及び健康と生活について理解し、健康を保持増進できる能力を身につける。
- ・生涯にわたってスポーツを楽しむ能力を育成する。

教科

《体育科・保健体育科での取組》

・保健体育科では球技の実践を通して運動に親しむ習慣をつけ、健康の保持増進と体力の向上を図り、豊かなスポーツライフに結びつける能力をつける。

・全校保健学習では生命誕生、命の学習、性感染症について専門の外部講師を呼び、自他の性に関して学ぶ機会とする。

《他教科での取組》

- ・職業教育では、作業の実践を通して、長時間の作業ができる働くための体力を培う。
- ・家庭科では、実際の食材を用いて食教育を行い、よりよい食生活を心がける契機とする。

道徳・特活・総合

・委員会活動の中で、月ごとの保健目標を設定し、生徒の健康への意識付けを行う、

・道徳の学習では、コーチング、アンガーマネジメントに通年で取り組み、気持ちのコントロールの仕方を学ぶ機会とする。

・全校球技大会では、決まりやルール・マナーなどを守ったり、仲間と協力したりして、運動に親しむ態度を養うことができる機会とする。

課外活動

- ・学校保健委員会にて心身の健康の保持増進に関わるテーマを取り上げ、その能力を身につける。
- ・各クラスの日直を毎朝保健室に呼び、健康チェックをする。
- ・運動部活動を推進する。

令和5年度 日野中央高等特別支援学校 体力向上 | 校 | 実践運動

《名称》 生活の中での体づくり運動を考える。

《ねらい》 豊かなスポーツライフへの意識づけを行う

《内容》 ・それぞれの単元の中で授業中に取り入れる。

- ・体育的行事や球技大会、他機関との連携、外部講師（サッカー、バスケットボール、ダンス 等）を招き、様々な活動において、体づくりを意識しながら取り組む。

●指標： 生活の中に取り入れられる自己にあった体づくり運動を考えることができたか？